

ウィキペディアを利用した情報源評価の学習教材

庄 ゆかり¹⁾, 稲垣 知宏²⁾

1) 広島文教女子大学 教養教育部

2) 広島大学 情報メディア教育研究センター

ysyou@h-bunkyo.ac.jp

概要: ウィキペディアを用いて情報源の評価法を学ぶ大学生用の学習教材を開発した。2 度の実践により、情報源の評価を通じて情報の信頼性を判断するという学習の必要性を確認した。説明や手順をさらに明確にすることが、今後の課題である。

1 はじめに

情報活用能力は知識基盤社会に生きる私たちにとって必須の能力であり、学校教育の中で能力を育成する必要がある。情報活用能力は、子どもの成長と学習内容に合わせて継続的に展開することで身に付くものであると指摘されている。小・中学校においては、情報活用の基本である調べてまとめて発表する「調べ学習」が、学校図書館を中心に各教科で実践されている。対して、学習内容と現実社会のつながりを考え、情報源を評価する等のより発展的な探究型学習の高等学校における教育は学校毎に取り組み方が異なり、不十分なまま終わっている場合も少なくない。このため、大学新入生の情報活用能力には大きな差が生じている。

私たちは、情報源として広く利用されているウィキペディアを対象に、情報源評価について学ぶ大学生用の学習教材開発を進めている。本研究では、これまでの実践結果と今後の課題を報告する。

2 方法

2.1 3つのステップ

これまでの研究では、以下の3つのステップからなる教材を開発し、実践で利用している。

ステップ 1

ウィキペディアによる情報調査

ステップ 2

「検証可能性」についての学習

- ・ウィキペディア三大方針の意味
(中立的な観点、独自研究は載せない、
検証可能性)
- ・情報源の種類

一次資料、二次資料、三次資料の違い

・情報源の示され方

ステップ 3

調査に使用した記事の信頼性を検証

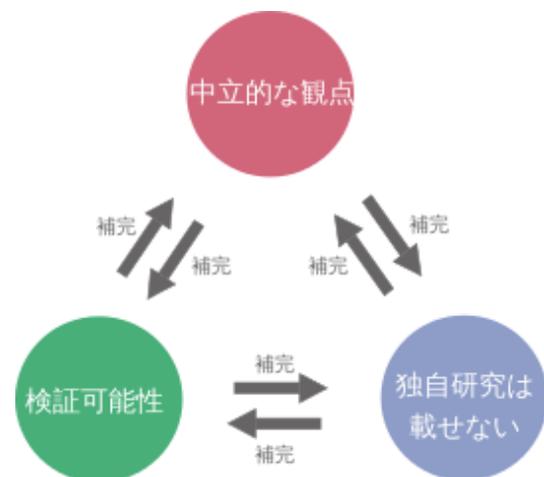


図1 ウィキペディアの内容に関する三大方針

2.2 演習シート

ステップ 3 では、演習シートを使用する。演習シートの主要部分は、ステップ 1 の情報調査直後の記事に対する印象調査、記事の部分コピー、ステップ 3 で信頼性検証作業後の記事の信頼度評価調査である。

3 結果

3.1 実践 1

H27 年度前期広島文教女子大学「人間科学基礎研究 I」(2 年次) 第 13 回において授業を実施した。履修学生数は 318 名である。それまでの授業内容から調査テーマはダグラス・マッカーサーと

し、記事の印象を点数で評価したのち、ステップ2の解説を行った。ステップ3として、ダグラス・マッカーサーの記事および秀逸な記事の一つであるアンネ・フランクについての記事の情報源が示されている部分に赤線をひき、情報源の種類を文献リストで調べたのち、ダグラス・マッカーサーの記事の信頼性を点数で評価した。

文献参照形式の違いに慣れない学生は、情報源が示されている部分に赤線を引く作業に手間取った。また、一次資料・二次資料の信頼性の違いについて、ウィキペディア自体の説明を用いた解説では十分に理解できない学生が多かったため、第14回の授業でフォローアップを行った。

学生による授業の感想（コメント）には、記事中の参照番号について学べた、文献リストを初めて見た、ウィキペディアは全部正しいと思っていた、先生がウィキペディアはダメと言ったので信頼できないと思っていた、ウィキペディアはいろんな人が書いているとは知らなかった、などがあった。

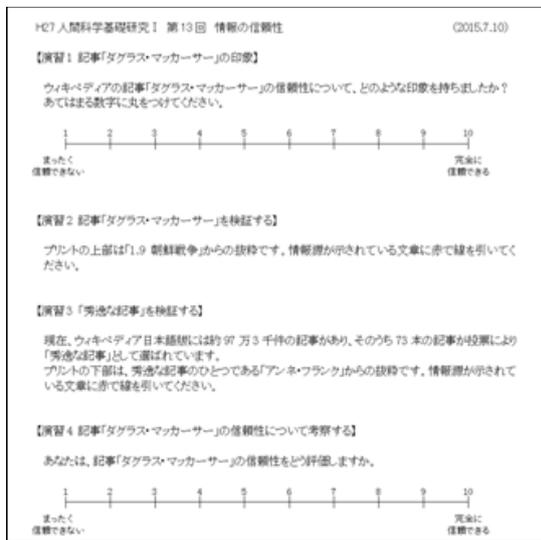


図2 実践1で用いた演習シート(一部)

3.2 実践2

H27年度後期広島大学「情報活用演習」(1年次)第3回で授業を実施した。履修学生数は9名である。実践1と同じ記事・演習シート(一部修正)を使用し、同様の手順で授業を行った。

ステップ2では、信頼性の解説を、ウィキペディアの説明を読ませ、説明に現れる、「第三者により出版された信頼できる情報」「事実確認や正確さに定評のある情報」の2点について詳しく分析し

た上で一次資料・二次資料について解説した。

情報源の確認をする作業では、情報源が示されていない部分について、その著者が参照したであろう資料を探そうとする学生が複数いたため、下線を引いた箇所を発表させることで参照箇所の確認を行った。

| 一次資料と二次資料 | |
|---|---|
| 一次資料 | 二次資料 |
| <ul style="list-style-type: none"> ある事柄の状態について直接の証拠となる記録物 多くの場合、出来事の参加者やその出来事の目撃者によって作られたドキュメント 権威ある機関がまとめた統計も一次資料 | <ul style="list-style-type: none"> ひとつまたはそれ以上の一次資料または二次資料を要約したもの。 百科事典等の二次資料を要約したものを三次資料と呼ぶ |

図3 一次資料・二次資料解説用授業スライド

3 考察

2つの実践により、学生は文献参照という概念を理解していないことが判明した。つまり、情報源を確認・評価するという情報の信頼性判断の方法を学習していなかったことになる。ウィキペディアでは記事の作成に関する情報を公開しており、大半の記事では文献参照が行われ文献リストも提示されているが、学生にとっては不要な情報、あるいは付加的な情報としての意識しかなかったということだろう。

また、ウィキペディアの信頼性について学習経験がある学生も、指導内容をそのまま受け入れてしまい、他の情報源について評価する能力へは必ずしもつながっていない。

以上により、大学生に対して情報源評価について学習させることが必要であることが分かった。

4 課題

情報源の種類と演習作業については、より明確な説明方法が必要であり、改善が求められる。また、教材の評価法を検討しなくてはならない。

参考文献

[1] (公社)全国学校図書館協議会、情報・メディアを活用する学び方の指導体系表、2004.